

■【トピックス】
中国バブル崩壊！



中国では大手不動産デベロッパーである恒大のデフォルトが懸念されています。このまま推移すると同業者が連鎖的にデフォルトすることが懸念されます。すでに中国発の第2のリーマン・ショックが起きるという声もあります。

また、石炭不足に端を発した電力不足で生産を停止した中小企業の倒産が相次いでいます。まさにバブルの崩壊が起きています。この影響は世界経済にも及びます。日本も例外ではありません。

■【今月のキーワード】

電子取引制度

電子取引制度とは、所得税（源泉徴収に係る所得税を除く）及び法人税の保存義務所者が取引情報（注文書や領収書等に通常記載される事項）を電磁的方式により授受する取引（電子取引）を行った場合には、その取引情報を電磁的記録により保存しなければならないという制度です。電子取引とは、具体的には、いわゆるEDI取引、インターネット等による取引、電子メールにより取引情報を授受する取引（添付ファイルも含む）、インターネット上のサイトを通じた取引情報を授受する取引などです。

■【ビジネス・アイ】
電子取引制度！

社長 「ところで、ちょっと聞いたんだけど、来年から請求書とか領収書をデータで保管しないと行けないって聞いたんだけど本当かなあ？」

花野 「そうなんです。紙で送られてきたものは従来通り紙で保存すればいいんですが、Amazonとかで購入した場合の領収書とかは電子データで保管しないとダメなんですよ」

社長 「それって、すべての企業が対象なの？」

花野 「対象は法人税を申告している法人や所得税を申告している個人事業主になります」

社長 「そうすると法人税や所得税の申告が必要ない事業者はその必要がないということなんだね」

花野 「そういうことになります。ただし、学校法人などの非営利法人でも収益事業を営んでいる場合には適用になりますね」

社長 「そうするとうちの会社みたいな中小企業では、現実的にはどうしたらいいのかな？」

花野 「国税庁のQ&Aでは、4つの方法を提示していますが、コストの面のことを考えると、一旦PDFファイルにして一つフォルダーを作ってそこに保存することが考えられますね」

社長 「とりあえず、それだけでいいの」

花野 「ただし、日付、取引先、金額で検索できるようにしておかないといけないので、ファイル名を日付_取引先名_金額にしておかれるのがいいですね」

社長 「面倒くさそうだけど、検討してみるよ」

■【今月の1冊】

『アメリカン・ベースボール革命』
バツ・リッドバグ トビス・リチャ 著
化学同人 ¥3200

2021年の大リーグでは、日本人の大谷翔平が二刀流で活躍しました。人気の低迷していた大リーグの救世主になりました。

そんな大リーグですが、近年はデータとテクノロジーを駆使した選手育成が拡散しています。古い体質の業界が、いかに変化していくか、そのリアルを描写した1冊です。企業経営にも共通するところが多いです。



■【編集後記】

先月号で独立して20周年ということをお知らせしたところ、たくさんのお祝いのお花をいただきました。コロナ禍ということもあり、特別なことは何もできませんが、コロナが収束したらより皆様に貢献できるように、今は充電の時としたいと思います。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.176(毎月1日発行)

●定価：2400円/年 ●発行日：2021.11.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808